

平成18年度京都大学図書館機構公開事業

テーマ：「発信する学術情報コンテンツ - 京都大学学術情報リポジトリ構築のために - 」

趣旨：

平成17年度は、京都大学における学術情報基盤の充実方策として、電子ジャーナル・データベース等の問題状況に関して全学的な理解を得ることを目的に、キャンパスごと(本部、北部、南部)に討論会を開催した。

今年度は、リポジトリ(電子的な情報発信拠点)に焦点を充て、「発信する学術情報コンテンツ - 京都大学学術情報リポジトリ構築のために - 」をメインテーマとし、京都大学学術情報リポジトリ(公開中)への学内研究者による研究成果登録の促進と広報を目的に、説明会・報告会・討論会を兼ねたシンポジウムを下記の要領で開催する。

構成は、基調講演、システム説明、コンテンツ形成に積極的な部局の事例報告とし、最後に京都大学学術情報リポジトリの今後についての討論会を行う。

主 催：京都大学図書館機構、京都大学学術情報リポジトリ検討委員会

開催期間：平成18年12月20日(水)
14時～17時30分

開催場所：桂キャンパス事務管理棟大会議室

参加対象者：本学の研究者(教員、院生)、図書館職員を中心として、近畿地区の大学の教員、図書館職員の参加も歓迎する。

Grosz - Malik - Brecht : 京都大学附属図書館蔵 ワイマール共和国時代文献コレクション展示企画展

京都大学は600万冊を超える蔵書を有しているが、そのうち附属図書館は約87万冊の図書館資料を所蔵している。中でも、20種近くある特殊コレクションには貴重資料も多く、これまで機会を捉えて一般に広く公開する事業を毎年実施してきた。

今回は平成17年6月より開始した常設展示「附属図書館セレクション」を展示の場として、一つのコレクションを4回のシリーズで展示して資料紹介を試みることにした。テーマを絞り込んだ少し長期にわたる連続した企画である。

対象としたコレクションは、昭和58年度に文部省より配分された予算で購入した大型コレクション「ワイマール共和国時代文献コレクション」とした。

このシリーズ展示では、以下のようなテーマおよび日程で連続展示を行う。

第1期「マリク出版のイラストレータ Georg Grosz の風刺画」

展示期間：平成18年11月1日(水)
～12月26日(火)

第2期「マリク出版創始者 John Heartfield の作った図書や雑誌」

展示期間：平成19年1月5日(金)
～2月5日(月)

第3期「革命ロシア文学とマリク出版の図書」

展示期間：平成19年2月7日(水)
～3月29日(木)

第4期「世紀の劇作家 Bertolt Brecht の初版本」

展示期間：平成19年4月4日(水)
～5月30日(水)